

教員の民間企業研修を開催

～東京都の高等学校・特別支援学校の先生が損害保険リテラシーと防災教育を学ぶ～

一般社団法人 日本損害保険協会（会長：石川 耕治）は、一般財団法人経済広報センターと連携して、「教員の民間企業研修」を 2026 年 8 月 19 日（水）に損保会館で開催し、東京都の高等学校・特別支援学校から 29 名が参加しました。

本研修は、学校の教員が、企業の事業活動に対する考え方や実務内容、取組みなどについて理解を深め、その体験を子どもたちへの教育や学校運営などに活かしてもらうことを目的に毎年実施しています。

今回の研修では、当協会や損害保険業界の概要、損害保険の仕組み・役割・必要性などの基礎知識に関する講義と、自転車事故への備えに関する動画を視聴し、損害保険リテラシーの理解を深めてもらいました。

また、一般財団法人河川情報センターの鮎川一史 副部長を講師に迎え、「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」(*)を活用して、水災発生時の個人の防災計画であるマイ・タイムラインを作成するワークショップを行い、学校における水防災教育を浸透・定着させるための工夫を話し合いました。参加者からは「保険は毎日の生活を守る相互扶助の仕組みであることを考えるよい機会になった。」「水害に対して正しい行動がとれるように、研修の成果を生徒たちにしっかりと還元していきたい。」等のコメントがありました。

当協会では引き続き、教育関係者等に有益な情報を提供し、損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。

<研修の概要>

第 1 部「損害保険リテラシーを学ぶ」

【講師：鈴木文明（業務企画部 啓発・教育・防災グループ）】

第 2 部「タイムラインを活用した学校安全対策と防災教育」ワークショップ

【講師：鮎川一史（一般財団法人河川情報センター副部長）】

<先生方から寄せられた感想>

- ・ 損害保険が社会のインフラ基盤の役割を担っていることを生徒に伝えていきたい。
- ・ 金融教育の授業で、研修の資料や高校生向け教材「明るい未来へ TRY!」を活用したい。
- ・ 9 割近くの生徒が自転車通学なので、損保協会の講師派遣やそんぽ学習ナビの教材を活用していきたい。
- ・ 水害はいつ起こるか分からないので、マイ・タイムラインの作成や訓練などに結び付けるようにしたい。
- ・ 損害保険の基礎知識や防災教育を保護者や若手の教員に伝えていきたい。

※そんぽデジタル・マイ・タイムライン https://sonpo-bosai.jp/sonpo_digital_my_timeline/

洪水のような進行型災害が発生した際に、いつ、何をするのか、を時系列で整理した個人の防災計画「マイ・タイムライン」をパソコンやタブレットで作成できる Web コンテンツです。国土交通省、一般財団法人河川情報センターの監修・協力を得て当協会が制作しています。



挨拶(寺島グループリーダー)



講義(鈴木講師)



ワークショップ(鮎川講師)